

太刀 銘 國宗

法量 刃長 772mm 反り 24mm 元幅 30.2 (31.7)mm 重ね 6.7mm 鎗重ね 7.6mm

形状 鎗造り、庵棟、身幅やや広く、鎗幅広く、鎗高い。彫、表裏とも片チリノ棒樋を丸留め。

鍛 板目つんで明るく、鍛接境が目立ち、乱れ映りが幽かに立つ。

刃文 直ぐ調に小湾れ、小互の目を交え、小沸づき、小足と葉がよく入り、下半刃中に匂いが断層をなし、佩き裏に湯走り風の二重刃かかる。

帽子 直ぐに先小丸、極く短く返る。

茎 大磨上、先切、元鑓不明、新鑓は筋違い。

備前三郎國宗 第41回重要刀剣。物打ちの棟に戦場傷を残す。

縮小率40%

転写を禁ず

